

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市若葉台地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

高齢化率が45%を超えた。相談件数も増えているが、地域包括支援センターで給付管理する要支援者数は減少した。相談内容が複雑になり、精神や引きこもりの家族や経済的困窮者など、高齢者の支援について専門的な知識や、行政との連携を要するケースの相談が多かった。

地域で子育て世代への支援に取り組んでいる。

地域交流拠点「ひまわり」が開所して、住民が集う場は増えているが、支えるボランティアの高齢化や担い手不足が課題になっている。支援を求める人と、相談の窓口、支援する人のより良い連携体制を強化する必要がある。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 建築基準法12条点検で指摘された問題箇所を、計画的に修繕した。
- ・ 横浜市のLED化事業に申請している。事務所の蛍光灯の安定器の不具合が続出し、平成28年度は安定器の交換で対応した。
- ・ 経年劣化の為、外壁のひびによる雨漏りがあり、小規模修繕で対応したが、大規模修繕の必要性も高まっている。
- ・ 害虫駆除や定期点検などを業者に依頼し、年間を通して計画的に管理した。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ デイサービスのリースタオルを導入したことで、光熱費や業務量の軽減に繋がった。
- ・ 消費電力警報装置の設置とその研修により、職員が消費電力の見える化を認識し、節電に取り組んだ。
- ・ 今年度もゴーヤを栽培して、グリーンカーテンによる消費電力の軽減に努めた。
- ・ ゴミのルート回収やエコキャップ推進ネットワークに協力した。

ウ 苦情受付体制について

- ・ 契約書で苦情窓口の周知の説明をしている。
- ・ 毎年1回の横浜市のアンケートを実施して、ご利用者の意見把握に努めた。
- ・ 福祉フェアで来館者・参加団体向けにアンケートを実施した。
- ・ 来館者を対象に意見箱を設置している。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 非常口や消火器の設置場所を記した館内図を掲示した。
- ・ 職員に対し、特別避難所開所に向けた防災訓練を実施した。訓練後に各部署ごとに振り返りをし、問題点やその改善について検討した。
- ・ デイサービスでは災害時の避難体制について、訓練後に会議を複数回開催して、職員への周知にも努めた。
- ・ 民間警備会社との契約により、警備体制を整えている。

オ 事故防止への取組について

- ・ 大勢の来館者が予想される事業では、靴の履き替えをせずに入館して頂き、混雑によるトラブルの回避に努めた。
- ・ 通所介護施設の利用者について、転倒を予防できる介助方法を検討した。また、そういった事例について、ヒヤリハットや事故報告には至らなかったインシデントについて全職員に周知できるように努めた。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報保護についての研修を全職員に実施した。
- ・ デイサービスで連絡帳の誤返却があった。Wチェックを実施していたが、状況によって一人で対応していたことが判明し、改めてチェック方法について、より確実な対応ができるように検討した。
- ・ FAX送信や郵送物についてはWチェックを義務付けているが、個人情報をマスキングして送った際に、機械の操作を誤って誤送付されてしまった。機械操作についても注意喚起した。
- ・ パソコン、USB、ファイルを施錠して保管している。情報は館外に不必要に持ち出さないようにしてる。

キ 情報公開への取組について

- ・ 第三者機関により、広く情報の公開に努めている。
- ・ 法人全体のホームページにて、法人の事業情報を掲載している。
- ・ 年4回地域全戸に定期配布する「ケアプラザだより」や毎月発行する「事業のお知らせ」、ブログなど様々な媒体を活用して情報の提供に努めた。

ク 人権啓発への取組について

- ・ 成年後見制度について講演会を開催して、広く周知できるように広報した。
- ・ 成年後見制度について個別に相談を受けた際には、制度の説明や申し立ての案内を行った。
- ・ かがやきクラブの会合において消費者被害防止に関する講演会を実施し、消費者センター等の情報について周知した。
- ・ 振り込み詐欺などの予防に向けて作成したチラシを、かがやきクラブへの訪問や事業の参加者、地域の関係機関の会議で配布した。
- ・ エンディングノートの作成に関わり、その活用について地域に案内した。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ ゴミルート回収の利用やエコキャップ推進ネットワークに協力した。
- ・ 夏は南側窓の下にゴーヤを植えて、グリーンカーテンによる冷房の電気使用料の削減に努めた。
- ・ 年間を通して、消費電力警報装置やそのデータ管理により、電気使用料金の削減に努めた。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

保健師・・・・・・・・・・1名
社会福祉士・・・・・・・・・・2名
主任介護支援専門員・・・・1名

《目標》

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく生活できるように支援する。
地域ケア会議で地域の課題抽出に取り組み、課題解決に向けて地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターと5職種で連携する。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

65歳以上の高齢者が6000人を超え、地域包括支援センター職員が4名に増員になり、総合相談の体制や地域との関わりが強化された。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
94	91	90	83	82	79
10月	11月	12月	1月	2月	3月
81	82	83	82	83	83

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員兼務）・・・1名
 主任介護支援専門員（常勤・兼務）・・・1名
 介護支援専門員（常勤・専任）・・・3名
 介護支援専門員（非常勤・専任）・・・1名

《目標》

疾患などによって要介護状態になったご利用者が、可能な限り自分らしく在宅生活が継続できるように支援する。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者やその家族の気持ちに寄り添って支援している。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
162	162	155	157	157	159
10月	11月	12月	1月	2月	3月
157	157	164	165	162	159

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴
- 機能訓練・レクリエーション
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 703 円
 - (要介護2) 830 円
 - (要介護3) 962 円
 - (要介護4) 1,094 円
 - (要介護5) 1,226 円
- 食費負担 720 円
- 入浴 54 円
- 機能訓練加算 60 円
- サービス提供体制加算 20 円
- 認知症加算 65 円
- レクリエーション材料費 50 円～600 円
- 処遇改善加算 18 円～30 円(介護認定区分による)

《事業実施日数》 月曜日～土曜日 週 6 日
日曜日 週 1 日

《提供時間》 月曜日 9:15 ～ 16:15
日曜日 9:15 ～ 12:30

《職員体制》 管理者(常勤兼務) 1名
相談員(常勤兼務) 3名
常勤介護職員 4名
非常勤介護職員 18名
非常勤看護師(機能訓練指導員兼務) 9名
非常勤理学療法士 1名
ドライバー(非常勤) 8名
調理員(非常勤) 5名

《目標》 ● 機能訓練を実施して、転倒や認知症の進行を予防する
● ご利用者が在宅生活を継続できるように支援する

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 手作りの美味しい昼食と職員の笑顔でお迎えしている
- 日曜日のサービス時間終了後に、美容師による理美容サービスを実施している

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
722	721	727	728	701	714
10月	11月	12月	1月	2月	3月
698	713	629	603	604	731

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴
- 機能訓練・レクリエーション
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （週1回ご利用者） 2,084 円
 - （週2回要支援2） 4,016 円
- 食費負担 720 円
- 処遇改善加算 46円～88円(介護認定区分による)
- レクリエーションの材料費 20～600円

《事業実施日数》 ①月曜日～土曜日 週6日
 ②日曜日 週1日

《提供時間》 ①9:15～16:15
 ②9:15～12:30

《職員体制》 通所介護と兼務

《目標》 ●ご利用者の在宅生活での課題を解決できるように支援をする
 ●機能訓練を実施して、転倒や認知症を予防する

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 手作りの美味しい昼食と職員の笑顔でお迎えしている
- 日曜日のサービス時間終了後に、美容師による理美容サービスを実施している

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
31	47	24	23	23	22
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	22	25	24	33	33

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

高齢者：かがやきクラブに訪問したり、コミュニティーハウスで出張相談会や事業を行い、窓口を広げて相談しやすい環境づくりに取り組んだ。また、生活支援コーディネーターが地域のサークル活動やイベントなどに訪問して高齢者の居場所や活動の場などの把握に努めた。

こども：子育てささえ合いの活動支援のほかに、「一時預かり」事業の立ち上げに向けて、子育てささえ合い連絡会と若葉台子育て母の会との毎月の会議に出席して意見交換した。サロン「みんな集まれ」では、高齢者との交流など多世代交流に向けて取り組んだ。

障がい分野：わかば学園や星槎学園の就労体験やインターシップの受け入れをした。福祉フェアでは新たに地域にある作業所にも参加してもらい、地域住民との交流の場にした。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

・五職種会議を開催して、地域の情報を共有し、開催する事業や今後の方向性について検討した。

・認知症カフェの立ち上げに向けた、ボランティア講座や認知症サポーター養成講座を開催し、新たなボランティアの発掘と育成に取り組んだ。

・かがやきクラブの定例会に、生活支援コーディネーターと同行し、それぞれの役割について周知してもらえるようにPRに努めた。

3 職員体制・育成

・五職種連携についての研修が多数あり、可能な限り参加した。また、研修内容について職員間で共有した。

・五職種会議を開催して連携を強化できるように努めた。

・居宅介護支援事業所のケアマネジャーに向けて、主任ケアマネジャーが総合事業について研修を実施した。

・10月から保健師が産休・育休に入り、代用員を募集したが採用に至っていない。

4 地域福祉のネットワーク構築

・未来づくり協議会やマスタープラン策定会議、ひまわりサポート会議等、地域の会議に出席して連合自治会など地域の関係機関と意見交換や情報の収集に努めた。

・かがやきクラブへの訪問や出張相談などを行い、顔の見える関係づくりに努め、地域ケアプラザの役割を周知してもらえるようPR活動を行った。

・各自治会の会合や福祉活動団体の会議等に生活支援コーディネーターが参加して、地域の情報把握に努めると共に体制整備事業について理解を深めていただけるようPRした。

・認知症サポーター養成講座を薬局やボランティアを対象に開催した。

5 区行政との協働

- ・第三期地域福祉保健計画推進に向けて、地区社協の理事会に出席し、活動状況の把握に努めた。
- ・高齢者の相談や介護申請のあったケースの支援の方向性について、地区の担当職員と情報を共有した。
- ・アルツハイマーデーや、エンディングノートのプロジェクトチームに参加し、その活用について地域に周知した。
- ・地域の障がい児者のケースについて、カンファレンスに参加して情報を共有し、支援の方向性について意見交換した。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・地域に向けて、四半期に一度「ケアプラザ便り」を定期発行し全戸配布したり、電子媒体としてホームページを活用したり、毎月1回事業チラシを作成し、地域にケアプラザの情報を積極的に提供した。また、地域広報紙「みんなの若葉台」「わかば通信」等も活用して、福祉保健活動を啓発した。
- ・毎年4・10月に横浜市ポータルサイトで発表されるデータを引用して、各自治会に地域の人口動向を見やすいデータ化したものを引き続き提供した。
- ・自治会、地区社協、民児協、かがやきクラブなどの会合に参加して情報交換をしたり、NPO 若葉台が実施している「ひまわり」「ふれあいにし」「そらまめ」等に訪問し、情報収集・情報交換を行った。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・日中は高齢・子育て・障がいの各登録団体や民生委員児童委員協議会等の定例会、老人会の料理教室等、夜間は連合自治会や地区社協、子育て支えあい連絡会の定例会に活用され、日夜ともに活動場所として提供した。
- ・毎週木曜日と第4日曜日は配食グループが利用し、地域の高齢者等に配食を提供している。また、それを活用したいいくつかの単位自治会の食事会が開催に繋がった。
- ・毎年開催する「福祉フェア」に、地域で活動されている団体に協力してもらい、それぞれの団体の活動を地域に知ってもらう機会になった。
- ・平成29年度からの貸室ルール改正において、4月からの利用に移行するため、利用団体向けに説明会を行なった。

3 自主企画事業

- ・地域全体が高齢化してきており、高齢者の介護予防、体力の維持向上を目的に、通年の体操教室やノルディックウォーキングを開催したり、外出するきっかけとして毎月1回のコンサート等のイベントを行なった。
- ・子育て支援では、子育てささえあい連絡会と協働して、子育てサロン「みんなあつまれ」やプレイパーク等の開催支援を行なった。
- ・障がい者支援として、精神障がい者を対象としたサロンもぐもぐの開催や、若葉台高等特別支援学校のパン販売などの職場実習や、星槎高等学校の職業実習などを受け入れた。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 通年開催の体操教室や歌声広場などの事業に、新規にボランティアを募り、会場準備やお茶会の準備など活動してもらい、これらの事業をきっかけに、他の事業にも協力して頂くなど活動の場を広げられた。
- ・ それぞれの団体の活動紹介の場、意見交換の機会として「ボランティアの集い」を開催した。
- ・ ジュニアボランティアや地域の児童生徒に対してボランティアのきっかけとして高齢者疑似体験、車いす操作法等を指導し、これからの担い手として育成した。
- ・ よこはまシニアボランティアポイントを活用して活動している方が増えている一方これから地域で活動してみたいという声もあり、四半期に1回程度、そういった方々を対象にボランティア研修を行なった。
- ・ 10月に開催した福祉フェアにおいて、育成したボランティアを活用し、直接支援だけではなくボランティアの活動を身近に感じてもらう機会として、活躍の場を提供した。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・ 様々な相談を受け、必要があればすぐに訪問し、内容を的確に把握できるように努めた。
- ・ ケアプラザから遠い所への定期的な出張相談（コミュニティハウス利用）を月1回通年で行った。
- ・ 相談内容に応じて適切な情報を提供し、関係機関や制度につなげた。
- ・ 民生委員等地域関係機関とのつながりを重視し、支援が必要と思われる方の情報を収集し積極的に関わりを持つことに努めた。
- ・ 必要に応じ継続的にフォローし、区役所とも情報を共有した。（精神障害者、ゴミ屋敷問題等を含む）

地域包括支援ネットワークの構築

- ・ 各関係機関との連携が図れるように各種地域団体の会議への出席を積極的に行った。
- ・ 地域のかがやきクラブ等の会合へも出席し、地域包括支援センターの紹介や顔の見える関係づくりを行うことで、相談しやすい雰囲気づくりに努めた。
- ・ 地域内の問題を抱える方の支援については、民生委員と一緒に訪問するなど協力体制を構築した。また、必要があれば区や区社協と連携して支援した。

実態把握

- ・ 相談の内容や事業でのアンケートから地域住民のニーズの把握を行い、事業につなげた。
- ・ 地域の催しや会合に参加し、直接地域の住民からの情報を得る方法で、実態把握に努めた。
- ・ 生活支援コーディネーターと協力し、地域のインフォーマルサービスの情報収集と把握を行った。

2 権利擁護

権利擁護

- ・ 旭区社協・川井地域ケアプラザ共催で成年後見制度についての講演会を実施した。
- ・ 成年後見制度について知りたいと相談に来られた方に制度の説明や申し立ての案内を行った。
- ・ 地域で実際にあった振込み詐欺の情報をもとに注意喚起のチラシを独自に作成し、来館者、かがやきクラブ、民生委員、地区社協理事会等で配布し、地域の詐欺被害の予防に努めた。
- ・ かがやきクラブの会合において消費者被害防止に関する講演会を実施し、消費者センター等の情報について周知をした。
- ・ 区版エンディングノートの作成に関り、その活用方法について地域へ案内を行った。

高齢者虐待

- ・ 民生委員、ケアマネジャー、サービス事業所等と情報交換を行い、虐待につながりそうなケースの早期発見に努めた。
- ・ 虐待防止講演会の案内を地域住民に行い、高齢者虐待への意識を高められるように努めた。
- ・ 虐待と疑われるようなケースは、事業所内で協議するとともに、区とも連携をとり対応を検討した。
- ・ 介護者の会等に参加していただくことで、相談がしやすい環境づくりに努めた。

認知症

- ・ アルツハイマーデイに地域住民へ認知症についての資料等を区役所と一緒に街頭にて配布し、理解を深められるよう普及・啓発活動を行った。
- ・ 認知症サポーター養成講座を薬局、ジュニアボランティア、地域住民を対象として実施した。
- ・ 認知症の方の受診の際に「旭区もの忘れ相談シート」の活用を案内し、円滑な受診が行えるように働きかけた。
- ・ 徘徊をしてしまう方について、家族や関係機関に SOS ネットワークシステムの説明を行い、登録を促した。
- ・ 「認知症カフェ」の開催のために認知症サポーター養成講座とボランティア養成講座を計画実施し、担い手を育成した。その方たちを中心に H29 年 2 月から月 1 回カフェを開催し、継続している。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・ 要支援者等が自ら持つ意思を重視し、意欲を引き出して自分らしい生活ができるよう支援を行った。
- ・ 委託を行う際は、よく担当ケアマネジャーと連携を取り、要支援者等が安心して支援を受けられるよう意識をした。
- ・ 介護予防支援業務（予防プランの作成等）や総合事業についての研修をケアマネジャー向けに行った。
- ・ 適切なマネジメントができるよう研修に参加し、内容を所内職員間で共有した。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ かがやきクラブや自治会の会合、また地域で活動する団体の会合等に参加して介護保険制度やケアマネジャーの役割についての案内を行い、支援が必要な際の流れの周知を行った。
- ・ 生活支援コーディネーターと常に連携を取りながら地域資源の情報収集に努め、必要なケアマネジャーや地域住民に情報提供を行った。
- ・ 民生委員等と頻繁に関わりを持ち、情報のやり取りを行った。
- ・ 地域ケア会議等においてケアマネジャーと民生委員等地域住民やボランティア団体が情報を交換できる機会を作った。

医療・介護の連携推進支援

- ・協力医とケアマネジャーが関係を深められるよう懇談会を開催し、情報交換の機会を作った。
- ・相談者に「旭区もの忘れ相談シート」を紹介し、受診時医師に症状を説明する際に活用してもらった。
- ・必要に応じて医院や病院の医療相談室を訪問し情報共有と関係づくりに努めた。

ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーから相談を受けた場合は、プランの見直し等丁寧に対応した。また、ケアマネジャーの会議に定期的に参加し、支援・連携に努めた。
- ・サービス担当者会議の開催支援を行った。
- ・困難事例については、ケアマネジャーと密に連絡を取り、必要があれば同行訪問した。
- ・川井・笹野台地域ケアプラザと共催し、年間5回ケアマネジャー向けの研修会を開催した。
- ・旭区全主任ケアマネジャーと協力し、新任就労予定ケアマネジャー向けの研修を実施し、実習生も受け入れた。
- ・旭ケアマネットの後方支援を行った。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・「地域ケア会議」で地域内の様々な関係機関に声をかけそれぞれの立場から意見を出してもらった。意見交換により地域の多職種協働のネットワーク構築に努めた。
- ・地域内に今ある問題や過去に検討した事例の経過を多職種で話し合うことで地域課題を共有した。

5 介護予防事業

介護予防事業

- ・地域内高齢者の活動の場に出向いて情報収集を行うとともに、体操や脳トレ等のプログラムを提供して介護予防の考え方や普及に努めた。
- ・ロコモ予防の体操や「ゆっくりノルディック」等の運動プログラム、口腔・栄養・認知症予防に関する事業を実施し、高齢者が健康を維持できるよう努めた。
- ・認知症予防の自主活動グループ（エンジョイわくわくクッキング）の後方支援を行った。
- ・かがやきクラブの定例会や茶話会に訪問し（今年度 計46回）、介護予防の講演やミニプログラムの提供を行った。

6 生活支援体制整備事業

- ・地域の会議や行事に出席し、顔の見える関係づくりと情報把握に努めた。地区社協理事会や民生委員児童委員協議会の自主研修では情報提供と地域課題の共有を図った。自治会・かがやき（老人）クラブが行っているサロンや活動に参加し、活動状況を把握した。ボランティア活動団体に聞き取りを行い、日頃の活動で課題と感じていることを伺った。収集した情報を基に地域活動サービスリストやサロンマップ、地域活動カレンダーを作成した。
- ・認定 NPO 法人若葉台が通所型・訪問型サービス B に向けての取り組みを始めたため、関係の会議に出席し、情報の把握・共有に努めた。
- ・1/22 に「一人暮らしの高齢者の見守り（日常生活支援）」をテーマに地域ケア会議と協議体を同時開催した。地域で配食・移送・生活支援・サロン等の居場所の活動を実際に携わっている方々に参加していただいた。
まず、生活支援コーディネーターより生活支援体制整備事業の説明と地域アセスメントの報告を行った。その後のワークショップでは、各団体の活動内容と把握している課題について話し合いを持った。
- ・五職種で連携し、2 月に認知症カフェ（けあぶらカフェ）をオープンした。立ち上げに際し、「ボランティア養成講座」を区社協の協力を得て開催した。参加者からカフェボランティアを募り、準備段階から活動に携わっていただいた。
- ・ケアプラザ事業から自主化した体操グループの活動支援として、「体力測定 & 講演会」を地域包括支援センターと連携し開催した。お食事サロン「四季彩」の活動支援を行い、9 月から自主グループとして活動を開始することができた。

7 その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市若葉台地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	13,873	28,809	151					5,789
	介護保険収入	0	2,122		256	33,595	80,464	1,804	
	その他				1,917	1,799	6,412		
	介護予防ケアマネジメント費				1,917	708			
	認定調査					1,091			
	利用料						6,412		
	収入合計(A)	13,873	30,931	151	2,173	35,394	86,876	1,804	5,789
支出	人件費	9,141	18,819			23,735	66,877		3,943
	事務費	2,036	834			1,363	2,726		
	事業費	441	755	167		1,621	16,583		183
	管理費	5,207	1,347						
	その他	731					142		
	消費税	731							
	支出合計(B)	17,556	21,755	166		26,719	86,328	0	4,126
	収支 (A) - (B)	-3,683	9,176	-15	2,173	8,675	548	1,804	1,663

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ゆるやか体操	高齢者	289338	69738	219600	205000	84338	0
	732						
	300						
らくらく体操	高齢者	205000	64400	140600	205000	0	0
	703						
	200						
なかよし親子体操	2～3歳児と保護者	114972	56972	58000	110000	4972	0
	116						
	500						
精神障害者サロン『もぐもぐ』	精神障害者	18843	2843	16000	0	18843	0
	80						
	200						
歌声広場	地域住民	90367	17317	73050	60000	30367	0
	532						
	150						
ゆっくりノルディック	高齢者	67100	67100	0	24000	43100	0
	96						
	0						
お食事サロン四季彩	高齢者	27200	3200	24000	0	27200	0
	60						
	400						
市民公開講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	228						
	0						
イザナギTaROコンサート	地域住民	21620	21620	0	20000	1620	0
	128						
	0						
横浜国大吹奏楽団コンサート	地域住民	9086	9086	0	3000	6086	0
	305						
	0						
歌と落語の宅配便	地域住民	20000	20000	0	20000	0	0
	100						
	0						
雨宮知子コンサート	地域住民	21620	21620	0	20000	1620	0
	106						
	0						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
コーヒーの淹れ方講座	地域住民	2160	1260	900	0	2160	0
	9						
	100						
クール来～る広場	地域住民	30913	15603	15310	0	30913	0
	107						
	10-100						
オータムコンサート	地域住民	26240	26240	0	23000	3240	0
	183						
	0						
福祉フェア	地域住民	89862	25432	64430	0	89862	0
	150						
	100-200						
ジャズピアノコンサート	地域住民	17034	17034	0	15000	2034	0
	149						
	0						
クリスマスコンサート	地域住民	14283	14283	0	10000	4283	0
	126						
	0						
新春演歌ショー	地域住民	4853	4853	0	3000	1853	0
	146						
	0						
ボランティアのつどい	ケアプラザボランティア	15789	15789	0	0	15789	0
	21						
	0						
マンドリンコンサート	地域住民	5780	5780	0	3000	2780	0
	160						
	0						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆるやか体操	75歳以上の高齢者を対象に、自分で通える方を対象とした介護予防、仲間づくり、引きこもり防止を目的とした、椅子で座って出来る健康体操と茶話会	毎月第1～5月曜日10:30～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく体操	75歳以上の高齢者を対象に、ご自分で通える方を対象とした介護予防、体力維持向上を目的とした体操教室	毎月第1～5月曜日13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なかよし親子体操	2～3歳程度の子どもとその保護者を対象とした、親子のふれあい、子供同士のふれあいを目的としたリトミック体操教室	毎月第2火曜日10:30～11:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神障害者サロン『もぐもぐ』	心の病を持った方を対象とした居場所づくり	毎月第1火曜日13:30～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声広場	昔の童謡・唱歌・懐メロなどを歌い、その時代の出来事を回想し脳を活性化すると共に、発声による健康増進を図る休憩時間の茶話会で参加者同士の交流をする	毎月第4金曜日13:30～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくりノルディック	昨年まで行っていた「お散歩会」をリニューアルし、歩行に不安のある方を対象に、ゆっくり歩行をしながら、体力維持と自宅にこもらず季節を感じる機会をつくる	毎月第4火曜日10:00～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お食事サロン四季彩	75歳以上の単身者、日中単身者、高齢夫婦などを対象とした食事とボランティアによるレクリエーションなどの提供	毎月第4木曜日11:30～13:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
市民公開講座	横浜旭中央総合病院の専門医から身近な病気の症状について分かりやすく解説して頂く講座	四半期に1回14:00～15:00

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イザナギTaRO コンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H28. 4. 23 (土) 13:30~14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜国大吹奏楽 団コンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H28. 5. 21 (土) 13.30~14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌と落語の宅配 便	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H28. 6. 18 (土) 13.30~15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
雨宮知子童謡コ ンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H28. 7. 9 (土) 13.30~14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クール来~る広 場	暑さの厳しい時期に冷房の効いた多目的ホールを開放して軽食やお茶の提供とイベントなど、地域ボランティアを活用した多世代交流の場づくり	H28. 8. 18 (木) 10.30~15:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わかばコーラス コンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H28. 9. 3 (土) 13.30~14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉フェア	ケアプラザの周知と福祉保健活動の啓発、ボランティアの活動の場の提供	H28. 10. 8 (土) 11.00~14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジャズピアノコ ンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H28. 11. 26 (土) 13.30~14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業報告書

クリスマスコンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H28.12.10(土) 13:30~14:30
------------	----------------------------------	-----------------------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新春演歌ショー	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H29.1.28(土) 13:30~15:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアのつどい	日頃ケアプラザで活動しているボランティアの慰労と情報交換	H29.2.25(土) 11:00~13:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マンドリンコンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	H29.3.11(土) 13:30~15:00